



鶴鳴

学校教育目標 「誇り高く」 鶴も今もこれらも

令和7年度 鶴舞小学校 学校報

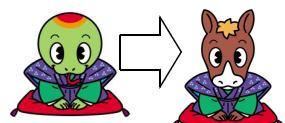
第19号 令和7年12月25日

明日から冬休み～よいお年をお迎えください～

水林での鶴舞小学校最後の今年度は、「水林の鶴小さよならプロジェクト」として、運動会や学習発表会ではプログラムを工夫したり、卒業生の俳優真坂雅さん、デフリンピック日本代表岡部祐介さん、アトリオン訪問演奏代表井島佐恵子さんと交流したり、メッセージ花火や縦割りの花壇整備をしたりするなど、たくさんの取組を行ってきました。まもなく令和7年（へび年）が終わり、令和8年（うま年）を迎えます。今年度の締めくくりと来年度に向けた準備をしっかり進めていきたいと思います。

さて、明日から冬休みです。家族の団らんの中で、新しい年の目標についても語り合っていただければと思います。皆様にとって、よい年になることを心よりお祈り申し上げます。

鶴舞小移転まで
97日



まにてただはラまひ でもしりわのぜのそきいうどめ水たちと生
すな、いが、ジいかふすとかもせがたよれれもどろにをくとあ活わ
りげそ小うオあなゆ もっきてすりうはいやいに、まないそ科た
たんうさんたさい休 だたれつき、でまなついな士ぜるつびのし
い氣いどいはこみ ちでいくでかしるかてかつたこくよしかー
となつではうおで目 とすにするすたたでたみたてくとふにたんば
おかつではうおで目 んでと。ち。まちまさしさにうどこ
もらづ、すをきすひ か二き、とをわるにしにまんししうと学の
いだけふきしし。よ よねて一もつたくつたない水まましで校お
ゆだまてそう くん、人だくし大く。るまをまししたすのも
休けす、のは あ生とでちつはきれさまし入たれ。にい
みど。かた そにてつとた、なまいでたれ。にい
ま、わぞめか びなもく力り土ケしごな。た。土とわ出
いかたくにぜ たつうるをすを！たはんちらは土がもでは、
日らしと、を いてれよあるまキ。かよ、じにかだそ



～冬休み前集会の発表より～

これまでのおもい出と
ふゆ休みの日ひょう

一年松組 小***

い自小休 ま教 1 がわバ奏こた学期でま るてつま極家てしボもと
と信学み明すえと十んれス樂の。習前、すもこみたす的でいか！上は後
思を校に日 てし月ばなク部演特発半バ。うとよで。にもたしル手体期
いものなか あてかりいラと奏印会象は、スそーをうすシ動練の、がに育前
まつ学りら げ、らまより一會吹ラは、やとこし少力飛ましでたす。
すて習ます冬 こ譜輩た。ツに残ったくさん演奏会は吹奏樂祭やバンドフェスティバル、後部し
。中の中のす。み春で どのがを読増がみえん方たばやりで、たズいムパーと思取りり方いをダ
学校振返りから入学校にしりをしりで、冬



後期前半の振り返りと
冬休みに頑張りたいこと

六年竹組 佐***

TNT清掃・TNTレクリエーション

縦割り班ごとに掃除をしたり、縦割り班ごとに6年生が準備したゲームで楽しんだりする取組が行われました。異学年児童の交流を通して、思いやりの心やあこがれの気持ち、協力し合う態度を育む機会と捉え、鶴舞小学校で大切にしている取組の一つです。



障害理解学習・ゆり支援学校との交流

障害理解学習とは、障害のある人との人が共に生きる「共生社会」の実現を目指し、障害の特性や課題、当事者の気持ちを理解し、偏見や差別をなくし、互いに尊重し協力できる態度を育むための学習活動です。

鶴舞小学校では、ゆり支援学校の子どもが鶴舞小学校の同学年の子どもと交流する「居住地校交流」を前に、ゆり支援学校の先生が来校し、障害について知り、仲よく交流をするための「障害理解学習」を複数の学年で行っています。

特に4年生は、総合的な学習の時間のテーマが「福祉」ということもあり、居住地校交流だけではなく、11月12日にゆり支援学校を訪問して交流し、12月19日にはゆり支援学校の小学部39名が来校して交流を行っています。子どもたちは、有意義な交流にしようと休み時間も活用しながら一生懸命準備を進めていました。当日は、両校の子どもたちの笑顔あふれる交流となりました。



鶴舞小の子どもたちの活躍

☆第33回高橋宏幸賞感想文・感想画コンクール (12/7)

【感想画の部】

ロマン賞	2年 齋***
ファンタジー賞	2年 加***
レインボー賞	1年 梶*** 菊*** 鈴*** 長*** 柴*** 高*** 佐***
	2年 岡*** 東*** 岡*** 石***
入選	1年 朝*** 松*** 2年 三*** 高*** 池***

【感想文の部】

入選 2年 横***

☆第23回タミヤスポーツ杯争奪小学生バレーボール大会 (12/21)

第3位 本由エアアタックスポーツ少年団

教師ミニミニ体験

「教師ミニミニ体験」は教職希望の高校生等が、児童生徒との触れ合いを通して、教職の適性を知り、教職への憧れや意欲を図ることをねらいとした、秋田大学高大接続センター主催の事業です。12月22日～24日の3日間、市内の高校生2名が本校で実習をしました。教員不足が社会問題となっていますので、教員志望の若者が増えてくれることを願います。